

経営比較分析表（令和4年度決算）

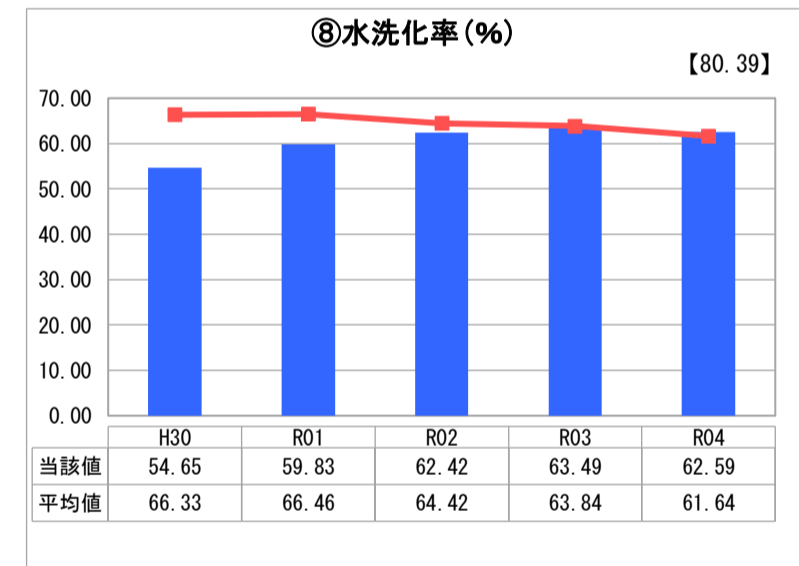
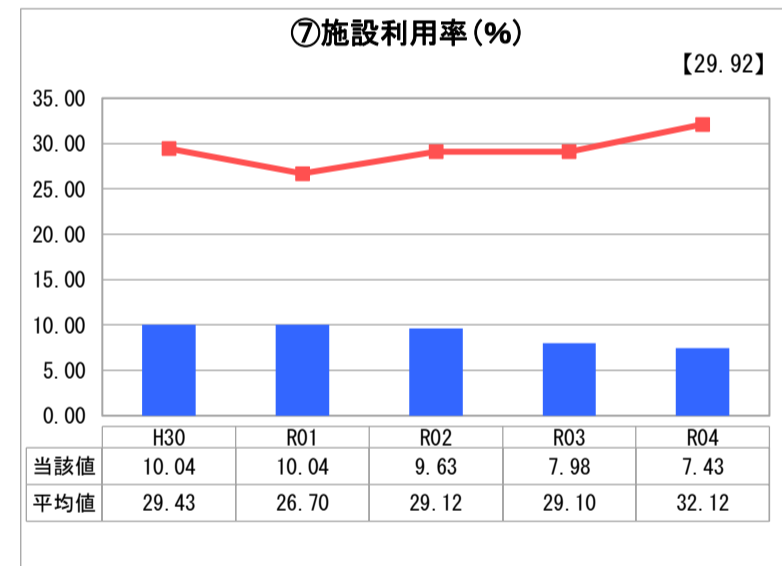
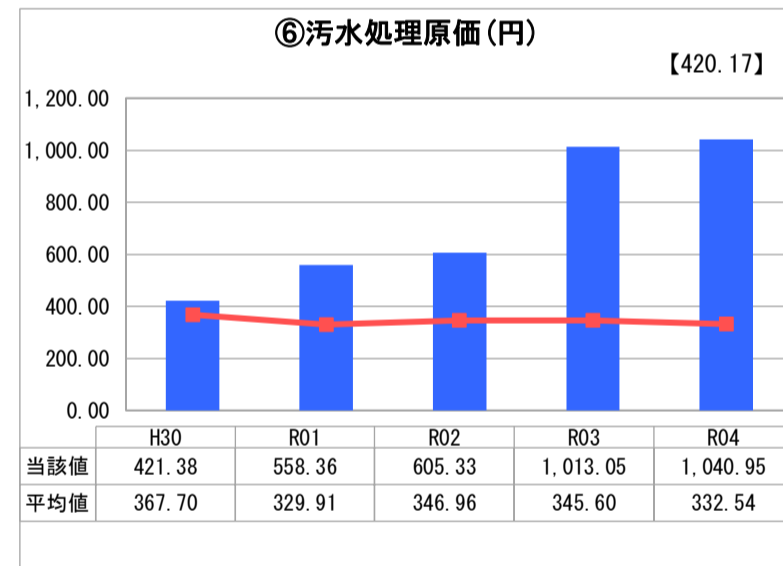
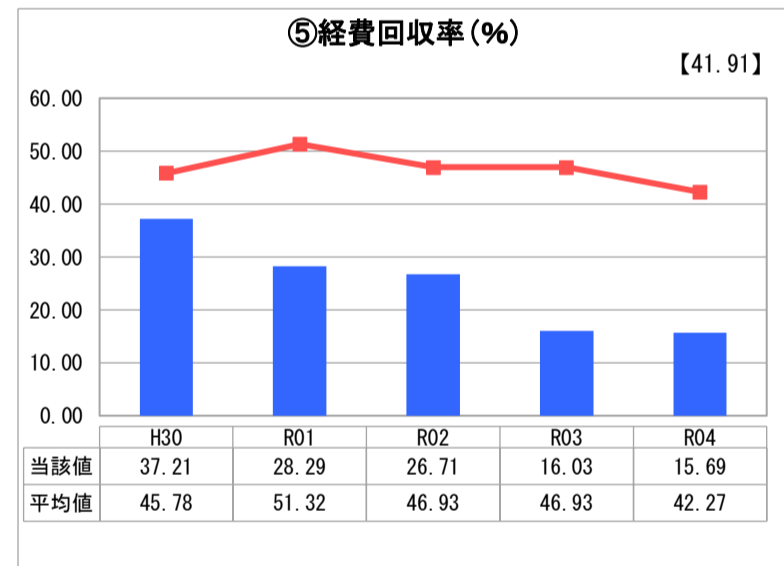
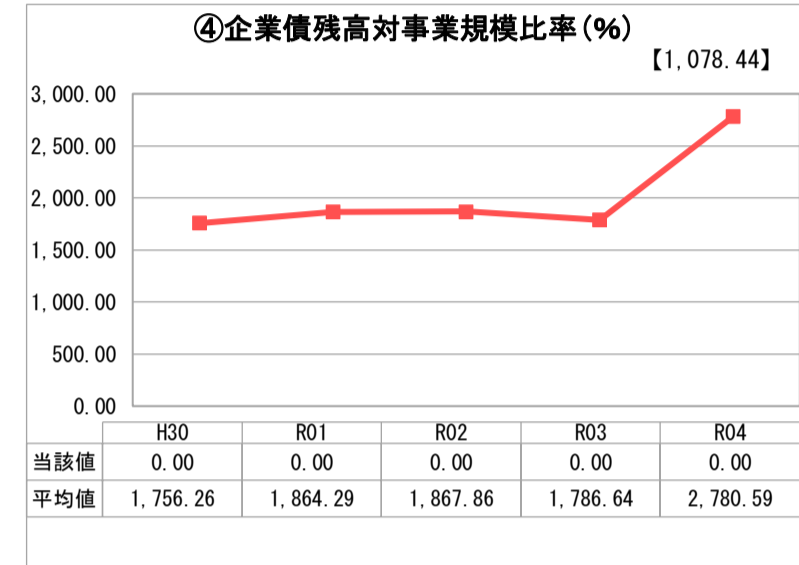
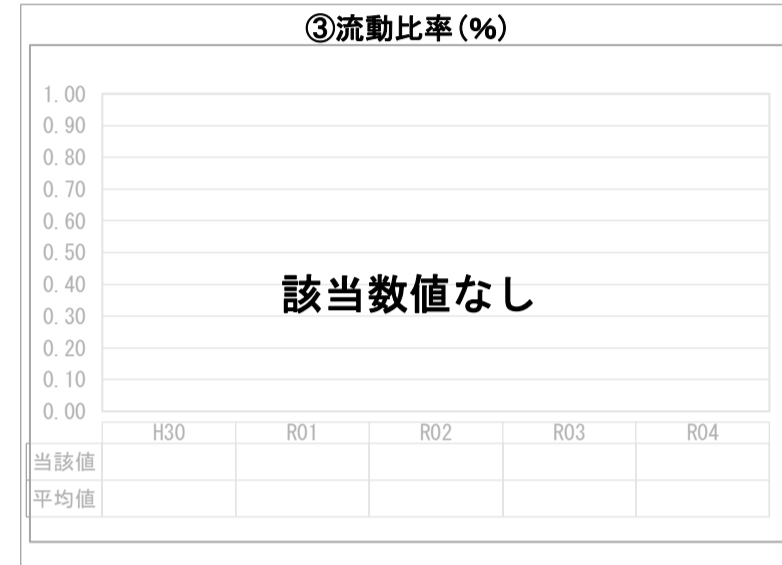
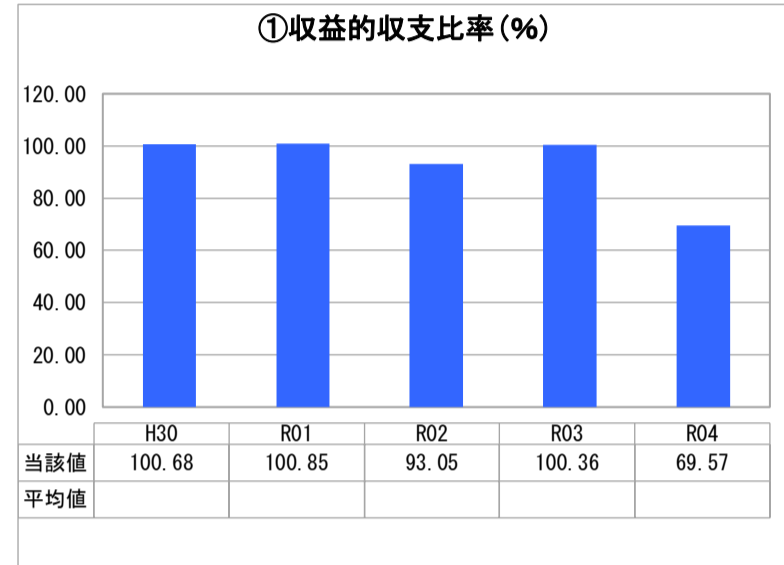
熊本県 宇土市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.17	112.60	3,050

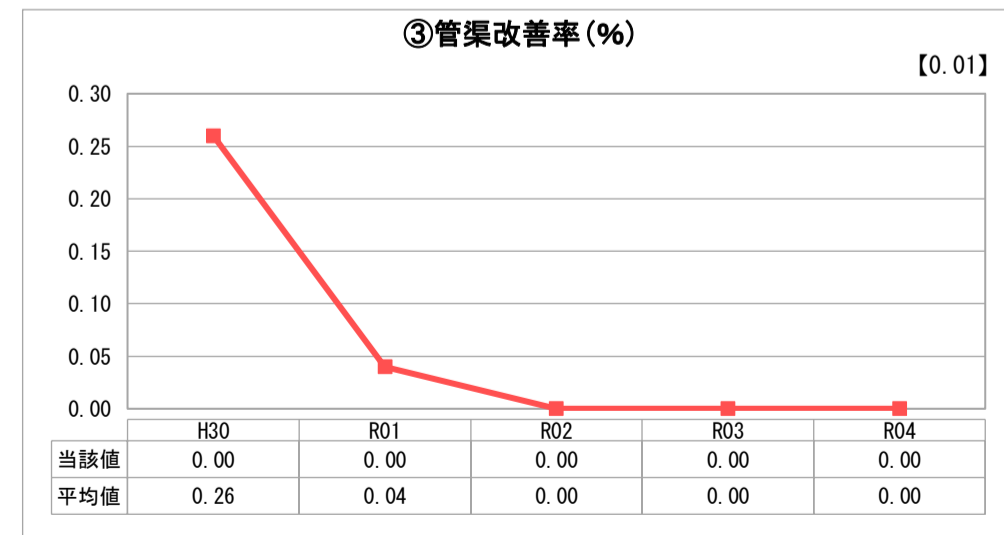
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
36,483	74.30	491.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
425	0.14	3,035.71

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、69.57%でありR4年度・R5年度においては、法適用移行に伴う委託料等が増加したことにより低くなっているが、今後は100%程度に戻る見込みである。

④企業債残高対事業規模比率は0%となっているが、これは企業債残高の全部を一般会計において負担するためである。

⑤⑥類似団体と比べると経費回収率は低く、汚水処理原価は高い水準となった。これは令和3年度と同じく、企業債の償還を基金の取り崩しにより賄ったため、一般会計からの繰入金が大幅に減少し、公費負担分を除く汚水処理費が大幅な増額となっていることが原因である。

⑦⑧施設利用率は類似団体と比べると低い水準であり、水洗化率は類似団体と同程度の水準であるが、今後は、人口減少に伴い低下することが見込まれるため、施設規模の縮小など検討していかなければならない。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は0%であり、今後も計画的な更新事業に取り組んでいく。

全体総括

漁業集落排水施設事業について、全国的に同じ状況にあると思うが、本市においても収益が少なく、費用を賄えないため、一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況である。対象地域は高齢者が多く、また、人口も減少していきと見込まれるため、処理能力や処理方式を見直すことにより、更新工事費や維持管理費の削減を図っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。